

# 広報

お知らせ版

# 薩摩川内

広報さつませんだい  
2010

No.135



4月6日(火)、可愛小学校で、交通安全・防犯用品の贈呈式がありました。これは通学路での子どもたちの安全を確保するため、市が毎年市内すべての小・中学校新1年生に贈っているものです。当日は、可愛小学校1年生の代表児童が上屋和夫教育長から贈呈を受けました。

黄色い帽子と防犯ブザーで  
安全・安心な通学を



4月10日(土)、里町に赴任された教職員の歓迎会がありました。先生方に早く地域に住み(墨)ついていたいただきたいという思いを込めて、恒例の赤イカ料理でもてなしました。先生方は口の周りをイカスミで真っ黒にしながら美味しくほお張っていました。

早く里町に住み(墨)ついて!



3月30日(火)、入来文化ホール別館で、第1回きんかんアイデア料理・菓子・加工品コンクールが開催されました。入来の特産品である「きんかん」を原材料として考案された14品は、いずれも趣向を凝らした逸品ぞろい。審査員をうならせるものばかりでした。

アイデア満載  
きんかん料理コンクール



鶴の舞う姿によく似た開花時の  
マイヅルテンナンショウの目ウ

川内  
絶滅危惧種  
マイヅルテンナンショウ寄贈

4月27日(火)、ジャパン・レッド・データブック九州再生研究会から、絶滅危惧種であるマイヅルテンナンショウの苗25本が本市へ寄贈されました。これは、同研究会の馬場会長と田代研究主幹が、平成19年に民間の方からもらった2つの球根を育て上げ、約3年かけて35本の苗に増やしたもの。「このような絶滅危惧種の植物がよく理解されていない。お互いに意識を高めて守っていきたい。」と馬場会長。寄贈された苗は、中郷上池周辺の湿地に植栽予定です。